

令和7年5月8日

国土交通省関東地方整備局河川部

下館河川事務所

栃木県県土整備部河川課

宇都宮市建設部河川課

栃木県宇都宮市（鬼怒川）で水防演習を開催します

～第73回利根川水系連合・総合水防演習～

1. 開催日時 令和7年5月17日（土） 午前9時30分～（開会式）
2. 開催場所 栃木県宇都宮市道場宿地先（鬼怒川左岸 柳田大橋下流）
3. 演習内容 別紙をご覧ください。

利根川水系連合・総合水防演習は、昭和22年のカスリーン台風による未曾有の被害を教訓として昭和27年から開催しており、国土交通省、関東地方の1都6県（埼玉県・千葉県・栃木県・群馬県・茨城県・東京都・神奈川県）及び開催市町村の主催により、毎年、利根川水系の河川において水防及び救出・救護等に係る総合的な訓練を実施しています。

当日の演習会場では、実践的な水防訓練、ヘリコプターや排水ポンプ車等を使用した救出・救護訓練に加え、水防・防災に関する体験コーナーや展示、さらには地元物産展なども行う予定です。

なお、ラジコンヘリ、ドローンなど小型無人飛行機の会場内への持ち込みや飛行、撮影は参加者の安全確保のため禁止させていただきます。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ 栃木県政記者クラブ
刀水クラブ・テレビ記者会 埼玉県政記者クラブ 千葉県政記者会
都庁記者クラブ 神奈川県政記者クラブ 宇都宮市政記者クラブ
筑西市記者クラブ 筑波研究学園都市記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 河川部 水災害対策センター 課長補佐 宮崎（みやざき）

電話：048-601-3151 メールアドレス：ktr-mizusaigaitaisaku@gxb.mlit.go.jp

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 副所長 成田（なりた）

電話：0296-25-2161 メールアドレス：ktr-shimodate_info@mlit.go.jp

栃木県 県土整備部 河川課 課長補佐（総括） 佐々木（ささき）

電話：028-623-2437 メールアドレス：kasen@pref.tochigi.lg.jp

宇都宮市 建設部 河川課 課長補佐 山崎（やまざき）

電話：028-632-2681 メールアドレス：u1609@city.utsunomiya.tochigi.jp

「第73回利根川水系連合・総合水防演習」取材のご案内

第73回利根川水系連合・総合水防演習を、令和7年5月17日（土）に栃木県宇都宮市道場宿地先（鬼怒川左岸7.8km付近）にて開催いたします。

本演習は、出水期を迎えるこの時期に地域を守る水防団（消防団）の士気の高揚、ならびに水防技術の向上、後継者の育成による技術継承はもとより、避難に関する取組により地域住民の防災意識を高めることで水防体制に万全を期すことを目的として開催されます。

利根川水系連合・総合水防演習は、昭和27年に初めて開催されて以降、「埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県、茨城県」の5県で交代して毎年実施しています。

第一部「水防訓練」は、開催場所の地元で水防活動を行う宇都宮市消防団による水防工法の準備や洗掘、漏水及び越水などの堤防の被災に対応する水防工法の実動訓練を行います。また、地元宇都宮市の地域住民による避難に関する取組なども同時に行われます。

さらに、宇都宮市清原地区防災会、宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科、宇都宮市清原地区国際交流会等による「自衛水防訓練」、宇都宮市立清原中学校、株式会社アキモ等による「水防工法体験」により、水防活動の重要性についての理解を促していくとともに、Web会議による河川管理者と沿川自治体とのホットライン訓練を実施し、住民避難の重要性についても発信していきます。

第二部「救出・救護訓練」は、「鬼怒川の増水により宇都宮市内の鬼怒川堤防から越水が発生し、氾濫が始まった」という想定で実施されます。

訓練内容は、地元栃木県建設業協会宇都宮支部による救援ルート確保のための道路啓開に続き、国土交通省緊急災害対策派遣隊（通称TEC-FORCE）と独立行政法人水資源機構による排水ポンプ車を用いた氾濫水排除訓練や、ヘリコプターによる浸水被害箇所状況調査を行うとともに、ボートやヘリコプターによる孤立者救助訓練、さらに救出された被災者の応急手当などの訓練を行い、多岐に渡る防災機関の連携活動と技術を披露します。

つきましては、「第73回利根川水系連合・総合水防演習」を取材頂きますようご案内申し上げます。

<※お願い>

当日取材の際には、総合案内に設けております、報道関係者受付にてご記帳いただき、自社の「報道」腕章を着用していただきますよう、ご協力をお願いいたします。（報道関係者と判断できない場合に、念のため巡回の職員がお声がけさせて頂く場合がございます。）

～水防演習の歴史について～

昭和10年の利根川の大洪水を契機に、河川改修と水防の強化について内務省の土木会議が『水害防備策の確立に関する件』を決議しました。これを受け昭和14年には、利根川各地の水防団が集まり、指導者の育成と水防技術の向上を目指した合同の水防演習が開催されましたが、戦争が進むにつれてこの水防演習は全く行われなくなりました。

このような状況のなか、終戦後の昭和20年代前半には戦争で疲弊した日本を、カスリーン(S22)、アイオン(S23)、キティ(S24)という大型台風が、毎年のように襲う事となります。特に昭和22年のカスリーン台風では、利根川右岸堤防が決壊し、濁流は埼玉県内に留まらず、東京都足立区、葛飾区、江戸川区までの広範囲に達し、流域に壊滅的な被害を発生させました。

戦争に疲れ、水防工法すら忘れ去られていた利根川流域では、多大な被害が発生し、水防活動の必要性と水防演習の重要性が、あらためて叫ばれるようになりました。

昭和27年、第1回目の利根川水系連合水防演習が、カスリーン台風によって利根川が決壊した埼玉県北埼玉郡東村（現加須市新川通）において、建設省（現国土交通省）、1都5県、（社）日本河川協会（現公益社団法人日本河川協会）の主催で、500人の水防団が集まり開催されました。

以来、台風の来襲による2度の中止や東日本大震災による中止、新型コロナウイルス感染拡大による延期及び中止があるものの、利根川の沿川5県（埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県、茨城県）の持ち回りで、毎年実施されております。

●ご取材に関する問い合わせ

第73回利根川水系連合・総合水防演習事務局

国土交通省 関東地方整備局 河川部 水災害対策センター 課長補佐 宮崎（みやざき）

電話：048-601-3151 メールアドレス：ktr-mizusaigaitaisaku@gxb.mlit.go.jp

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 副所長 成田（なりた）

電話：0296-25-2161 メールアドレス：ktr-shimodate_info@mlit.go.jp

第 73 回利根川水系連合・総合水防演習 会場周辺案内図

○JR 宇都宮駅から来られる方

<無料シャトルバス>

- ・「JR宇都宮駅」から「会場」までシャトルバスで約 25 分

<ライトライン>

- ・「JR 宇都宮駅」から「飛山城跡停留場」までライトラインで約 20 分、
「飛山城跡停留場」から「会場」まで徒歩で約 25 分
- ・「JR 宇都宮駅」から「清原地区市民センター前停留場」までライトラインで約 25 分、
「清原地区市民センター前停留場」から「会場」まで無料シャトルバスで約 10 分

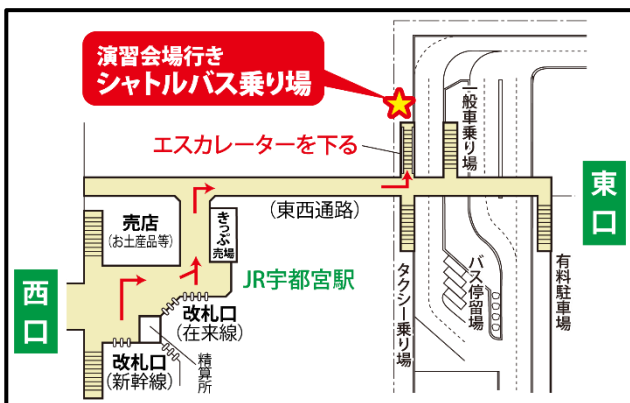
○車で来られる方

- ・北関東自動車道「宇都宮三上 IC」から約 20 分、「真岡 IC」から約 25 分
- ・東北自動車道「宇都宮 IC」から約 25 分

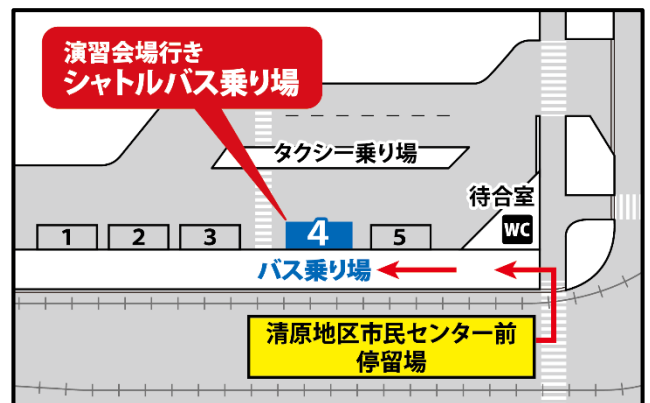


<無料シャトルバス乗り場について>

○JR 宇都宮駅



○ライトライン 清原地区市民センター前停留場



第73回利根川水系連合・総合水防演習 報道受付位置図

会场上流側(一般来場者駐車場側)の「上流側資料配布所」付近において、報道受付を設置します。当該箇所において、受付をお願いします。

